

会員の「ひ・ろ・ば」



城陽市シルバーに同行 光台 岩橋和子さん

ふるさと案内人の初仕事、シルバー人材センターのハデハデジャケットを着用して、気はずかしい思いで1台目のバスに理事長と乗り込んだ。

一行は城陽市シルバー共歩会といって「歩こう会」のかたがたで、バス2台で総勢約100人の団体であった。よい天気にも恵まれたがはなはだ寒い風のなか、午前中「私のしごと館」を見学・体験したあと「あわさい」で昼食、午後は「けいはんな記念公園」水景園の散策という行程である。

移動の車内では、臨時案内人の理事長が要所要所で学研都市の現状を説明された。

城陽のシルバーは会員700人余り、うち女性は200人余りで、市役所の日直の仕事や弁当屋の調理の仕事などに携わっているとか。歩こう会は、年一度の日帰りと一泊旅行が計画されており、シルバーといっても、みなさんの様子は元気そのものだった。

私は初めてのふるさと案内人（ひよこになりかけの）として同行させていただいたが、多くの城陽の方々とお話しができたこと、無事1日が終わったことをうれしく思っている。

「けいはんな記念公園」に下見に行くなど、私なりに事前に準備をしていたが、まだまだ勉強しなければならないことは多いと気付かされた。それに、自分の健康管理も必要だろう。

精華町全体の案内は無理だとしても、自分の住んでいる地域、精華大通り近辺ぐらいはマスターして、皆さんを案内できればと思っている。



文化展 精華台 富田民子さん



私が刺繍を始めるきっかけになったのは還暦も過ぎ、時間に余裕が出来たこともあり、何か子供達に生きた証を残したいと思ったことでした。

そのうち作品も増え、押入れの奥に眠ったままになっていることが少々気になっていました。たまたま今回シルバーで初めて文化展を催すということを知り、早速展示の申込をした次第です。何点か頑張って展示に間に合わせた作品もありますが、何よりも沢山の方に見て頂けたことを幸せに感じております。

次回はさらに多くの方々の作品を楽しみに、又、私自身も日々次の作品に希望をふくらませております。